

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	びじょん新滝	公表日	2024年 3月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制評価	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数等は適切であるか。	1	1		基準を満たしているがもう少し人数がいれば気持ちに余裕が持てると思うところがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に配慮し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	2	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	2	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0		検討しているが評価表を活用するところまでは行っていない
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		
	10	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	2	0		様々な分野の先生から話が聞ける機会が多い
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を着眼的に分析し、発達支援支援計画を作成しているか。	2	0		
	13	発達支援支援計画を作成する際には、発達支援支援管理責任者だけでなく、こどもの事業に関する職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		療育ミーティングでより具体的な子供の理解になっていくと思う
	14	発達支援支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		職員間の共有がより強化できる療育ミーティングが今後行われる
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0		
	16	発達支援支援計画には、発達支援支援ガイドラインの「発達支援支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて発達支援支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、発達支援支援計画の見直しを必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	2	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーシブ推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1		保育所等訪問支援を利用しないお子さんは連携がとりづらい
	28	地域の他の発達支援センターや障害児発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)関係こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)地域の発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	1		
33	日頃からこどもの発達や保護者との伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	36	発達支援支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	37	「発達支援支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から発達支援支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要の助言と支援を行っているか。	2	0		保護者同士の活動があることで特性の理解も深まると思う
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の取組を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2		
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	41	定期的に通信等を実施することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	0		
	非常時の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	
46		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	1		定期開催までにはなっていない
47		事前に、服薬や予防接種、でんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	2	0		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	1		安全計画は作成されていない
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族へ周知しているか。	1	1			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	2	0		
	52	虐待を防止するため、職員間の研修機会を確保する等、適切な対応をとっているか。	1	1	職員間での話し合いはしている	研修の必要性は感じているが実施されていない
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援支援計画に記載しているか。	1	1		身体拘束については伝えているが、対象となる子供がいない	